

林業漫画 お山ん画「炭焼き」

林野庁北海道森林管理局
平田美紗子

お山ん画
作・平田美紗子

人里から一歩山へ入ると
株立ちしたツギナラ
遺跡のように積み重ねた石

炭は百来より、日本人の文化と深く関わってきました。

至る所で見られるこれらは
数十年前炭焼きが行われていた名残です。

弥生時代
鉄器の製作に木炭を使用

平安時代
公家の暖房用として

安土桃山時代
茶道の発展と共に機能と美しさ

江戸時代
ようやく庶民にも普及。

昭和30年代に燃料革命で
電気がガス・灯油が登場するまで
炭は私達の生活に
欠かせないものだったのです。

炭は高く
構えた
炭焼屋

その秘密は
まな
あま
孔

わずか1gの炭の表面積は、
何と! 250~400cm²!

買150 ~ 200買分!

そして近年、炭は新たな用途への
活用が広がっています。

他にも、美術工芸材料や家畜の飼料にも使用。

この面で色々な物質を吸着してくれるのです。

調湿・消臭効果
沢山の穴で水分を吸い吐きするの
床下や室内の調湿に。
ホルムアルデヒドやアンモニア等、臭いの
分子も吸着。寝具にも使用します。

水質改善効果
水に含まれる有機物や
不純物を分解します。
水道中の
カルキも
吸着
池の水質を改善したり
ご飯もふっくら

土壌改良効果
土の保水性・透水性を高め
植物の成長を
助けます。
空気
水
微生物
養分

窯詰め (立て込み)

前回焼いた熱が残る窯内に、約2mの原木を詰める (半日)



原木 カシ等の堅い木。

ウハメガシで作られた白炭は有名な備長炭!

白炭

堅くて火持ちも抜群



炭焼きは「木伐り3年、窯作り10年、炭焼き1年」といわれる職人技。

口交き

窯口で火をつけ、原木を乾燥させる (3~7日)

炭化

口を塞いで、蒸し焼きにする (3~4日)

原木 クヌギ、ナラ等



窯の背が低いので中腰作業

黒炭

窯内消火法で炭化、柔らかく着火し易い。

窯口を少しずつ開けて

精錬



窯出し

真赤に焼けた炭を掻き出す。窯内は1000℃

消火

湿らせた炭をかき出し、消火



白い炭がつくので、白炭の名に。

硬く焼き締められた白炭は、登った金属音がします。焼き物料理に最適!

隙間なくみっちり詰めます

口交き

原木に火が回るまで、焚き木を入れ、温度を上げる

炭化

少しずつ空気穴をふさぎ、蒸し焼きにする

精錬

空気を少しずつ入れ、カスを燃やす

消火

窯口を完全に塞ぎ、消火

窯出し

直接窯の中に入り炭を出します。気分はセンター? (炭がぶり)

煙がいからっぽく、煙の色が白っぽく細い。煙の色や温度でタイミングをはかる。



水も空気も土も綺麗にする炭のパワーをぜひ活用して、生活に取り入れてください!

炭は山作りから始まる循環型のエネルギーです。

黒炭の中でも皮が綺麗につき、菊割れのあるクヌギ。美しい姿はお茶炭に最高です。